

SNS利用のトラブル事例



～情報モラル教育に御活用ください！★印は「ターニングポイント」です。～

事例① インターネットで知り合った人とは絶対に会わない



女子生徒は、コミュニティサイト(ツイッター)で友達登録してきた男のプロフィールを確認、共通の趣味などについて話しているうちに、悩みなどを打ち明けられるようになり、ダイレクトメッセージ(DM)を交換する間柄となった。更には、男が優しい言葉をかけられたことで「いい人なんだ」と思い込み、住所・名前を教えてしまった。【★】

その後、男から「今度一緒に遊びに行こう」とメールがあった後、「今、自宅近くのコンビニにいる」と連絡があり向かったところ、プロフィールとは全く違う男から車に乗るよう言われ、県外にある男の家へと連れ込まれた。身の危険を感じた同女は、隙を見て家から飛び出し近くの交番へ逃げ込み、警察に保護された。

後に、男は、未成年者誘拐と監禁の罪で逮捕された。

事例② 安易な動画投稿がいじめ・不登校に！

A君は、動画撮影していたところ、自転車に乗っていたB君が転倒する状況を偶然撮影した。

その後、A君は「面白い動画が撮れたからみんなに見てもらおう」と思って、おもしろ動画サイトにB君の許可なく、顔や自転車の特徴(学校・個人名等)が分かる状態で、「自転車コリン」と題した動画を投稿した。【★】

そのおもしろ動画を閲覧した同級生数名が、B君に動画を見せた後B君に向かって「コリン・コリン」とからかい始めたことで不登校となっていました。



事例③ 自分のことを教えていないつもりが……

女子生徒は、インターネット上に顔写真・学校名・メールアドレス等の個人情報を公開することは危険であると認識していたが、コミュニティサイト(ライン:LINE)で知り合った自称東京都在住の男が、友人には話せない悩み事を聞いてくれ、アドバイスを得ていたことで、その関係を続けていた。

同女は、男と連絡を取り合う中で、「〇〇駅から乗った電車で痴漢に遭いそうになった」「同級生のサッカー部が県大会で優勝した」などと、日々の出来事を送信したことで、繋ぎ合せる居住地域・学校・学年が分かってしまった。【★】

東京都在住を語っていた男から「あなたは、私の近くに住む〇〇学校の△年生だね。明日、校門の前で待っているね。悩みを公開されたくなかったら、声をかけてね」と会うことを強要された。



◇ 警察からのお願いです ◇

SNS利用をめぐるトラブルは増えています。

注意点は、

個人情報 は、「書かない」、「教えない」、「画像、映像に注意する！」

自撮りは、「撮らない」、「撮らせない」、「渡さない」

です。

困った時は、ネット上の知り合いではなく、家族、学校、警察に相談することを指導してください。